

千葉県道路啓開計画の策定について

本県では、平成 2 7 年に津波被害を想定した沿岸部へ至る道路啓開^{※1}の候補路線を選定、公表していましたが、本年発生した能登半島地震の被災状況を踏まえ、内陸部を含む県全域を対象とする道路啓開計画として新たに策定しました。

1 概要

平成 2 7 年に公表した千葉県版「くしの歯作戦」^{※2}では津波被害を想定していましたが、今回の計画では首都直下地震^{※3}などの地震被害も想定しています。策定にあたっては、道路管理者だけでなく、通信、エネルギー事業者や水道関係者も含めた会議（別紙 1）を開催し意見交換を行いました。

2 啓開候補路線（別添図）

啓開候補路線は、県内の防災拠点と被災地を連絡するよう選定しており、防災拠点、市役所、港湾施設などを結ぶネットワークが形成されています。また、電気通信、水道などのライフライン関係者へも共有しています。

3 今後の取組

今回の計画は実効性を高めるため、道路を塞ぐがれきなどの被災量を想定し、啓開作業に必要な人員、資機材を予め確保する計画としています。今後は、関係機関と連携した訓練を実施するなど、災害への対応力の強化を図っていきます。

4 その他

今回策定した道路啓開計画の概要版を添付しますので、ご参照ください。計画全文は千葉県ホームページで公表しますので、合わせてご覧ください。

5 問い合わせ先

千葉県 県土整備部 道路環境課 企画班

電話 0 4 3 - 2 2 3 - 3 1 4 0

※ 1 ～ 3 : (別紙 2) 用語解説参照

千葉県道路啓開計画策定会議 関係機関一覧

道路管理者	国土交通省 千葉国道事務所 防災情報課
	国土交通省 首都国道事務所 管理課
	千葉県 県土整備部 道路環境課
	千葉市 建設局土木部 土木管理課
	千葉県道路公社
	東日本高速道路(株) 千葉管理事務所
	東日本高速道路(株) 東京湾アクアライン管理事務所
	東日本高速道路(株) 市原管理事務所
道路関係者	防衛省 陸上自衛隊 第1空挺団
	千葉県警察本部 交通規制課
	千葉県レッカー事業協同組合
	千葉県建設業協会
通信関係	N T T 東日本 千葉事業部
	株式会社 N T T ドコモ 千葉支店
	KDDI 株式会社 南関東総支社
	ソフトバンク株式会社 関東技術推進部
	楽天モバイル株式会社 BCP 管理本部
エネルギー関係	東京電力パワーグリッド(株) 千葉総支社
	東京ガス(株) 千葉支社
	房総ガス協議会
	(公社) 千葉県 L P ガス協会
	千葉県石油商業組合
上下水道関係	千葉県 総合企画部 水政課
	千葉県 県土整備部 下水道課
	千葉県 企業局 水道部 計画課
	千葉県 企業局 工業用水部 施設設備課
危機管理部局	千葉県 防災危機管理部 危機管理政策課
	千葉県 防災危機管理部 防災対策課
	千葉県 県土整備部 県土整備政策課

用語解説

1 道路啓開

緊急車両等の通行のため、早急に最低限の瓦礫処理を行い、簡易な段差修正等により救援ルートを確認すること。大規模災害時には、応急復旧を実施する前に救援ルートを確認する道路啓開が重要となる。

2 千葉県版「くしの歯作戦」

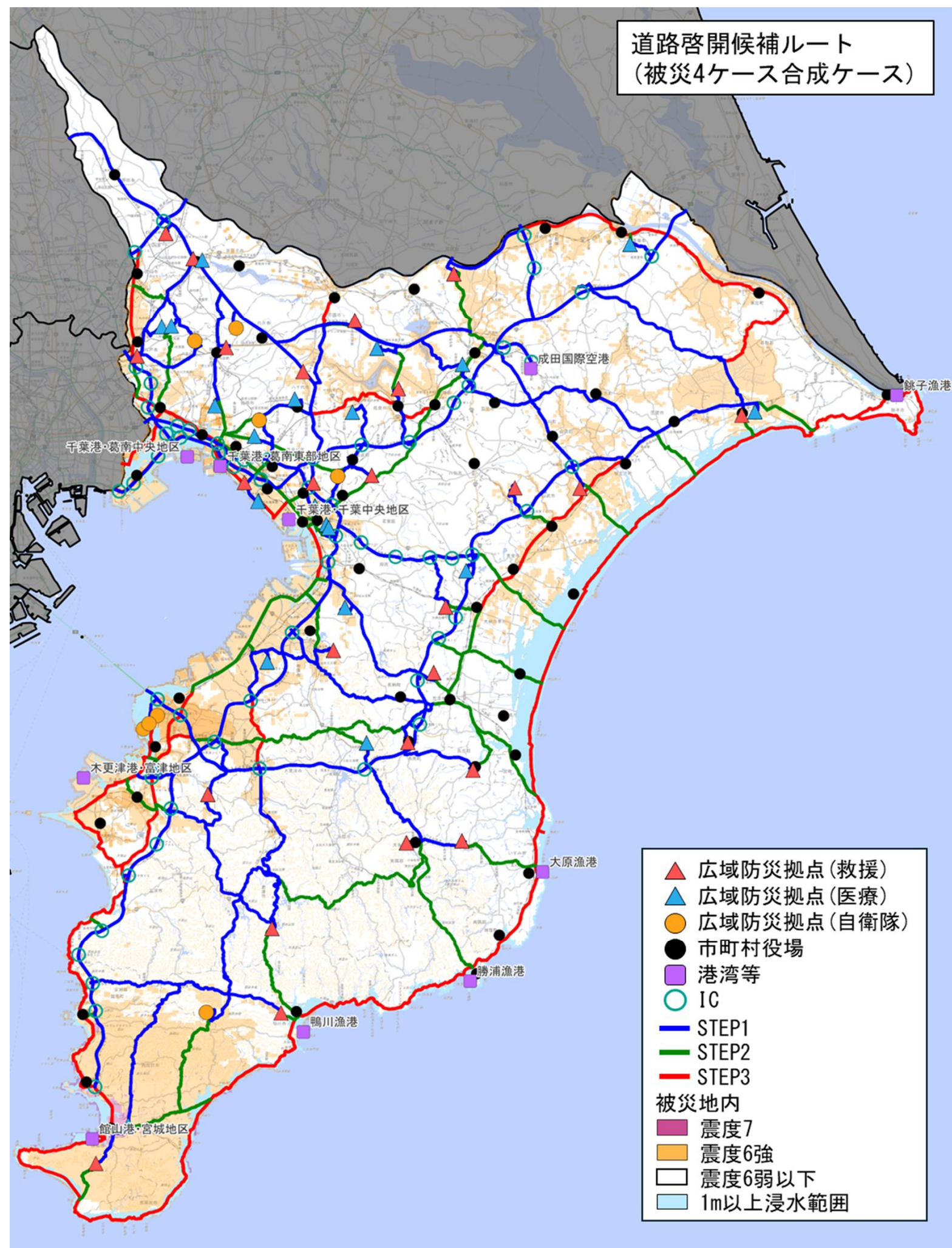
九十九里・南房総沿岸部における津波被害時の道路啓開について、救命・救援ルートを迅速に確保するため、道路啓開候補路線を選定した計画（平成27年11月公表）

3 首都直下地震

内閣府中央防災会議で示された、マグニチュード(M)7クラスの地震のうち被害が大きく首都中枢機能への影響が大きいと思われる首都及びその周辺地域の地震、および相模トラフ沿いの海溝型の大規模な地震のうち当面発生する可能性は低いが今後百年先頃には発生の可能性が高くなっていると考えられる大正関東地震タイプの地震。

(別添) 千葉県道路啓開計画 啓開候補路線

道路啓開候補ルート
(被災4ケース合成ケース)





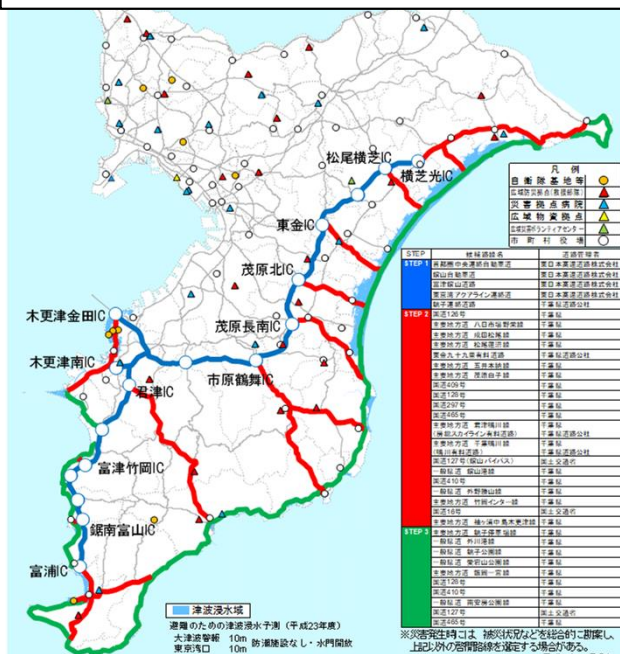
千葉県道路啓開計画 —概要版—

県土整備部 道路環境課



- 東日本大震災の被害を受け、津波災害に対応した千葉県版「くしの歯作戦」を策定公表済（平成27年11月）
- 能登半島地震では、土砂災害による道路閉塞や水道、通信等のライフラインの途絶が発生
- 地震による建物の倒壊などによる道路閉塞も想定し、内陸部を含む県全域を対象とする道路啓開計画を新たに策定

千葉県版「くしの歯作戦」
（平成27年11月）



追加検討

千葉県道路啓開計画
（令和6年9月）

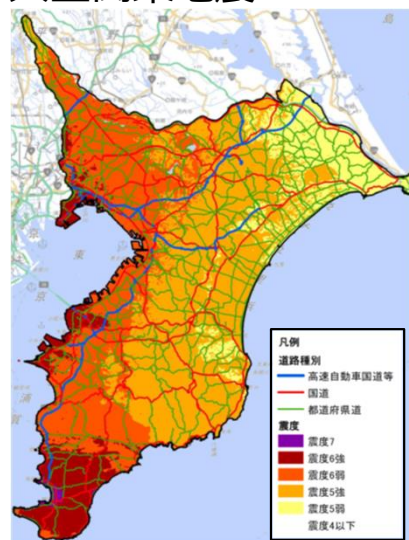
【主なポイント】

- ①地震被害想定
 - ・相模トラフ地震（大正関東地震）
 - ・首都直下地震（東京湾北部地震、成田空港直下地震）
 - ・津波（元禄地震）を想定
- ②被災地への啓開候補路線を防災拠点を連絡するように選定
- ③啓開候補路線を電気通信、水道等のライフライン関係者に共有
- ④啓開候補路線毎に被災量を想定し、啓開に必要な人員、資機材を考慮した上で啓開担当会社を選任

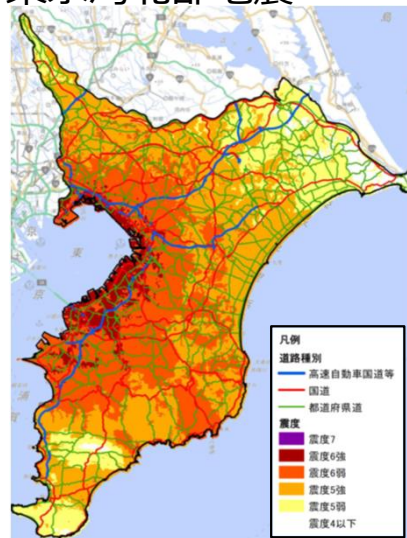


- 想定災害は地震 3 類型＋津波 1 類型
- 震度 6 強以上又は津波浸水 1 m 以上を被災地（応援受援計画）

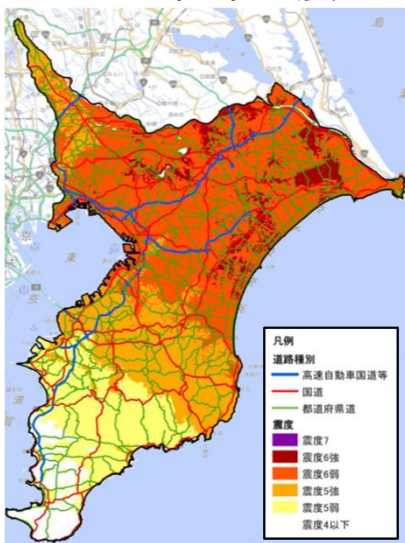
大正関東地震



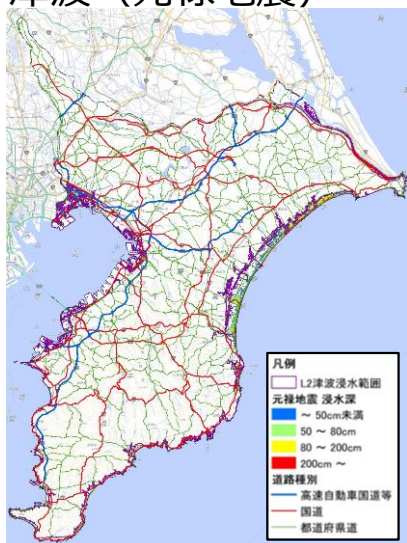
東京湾北部地震



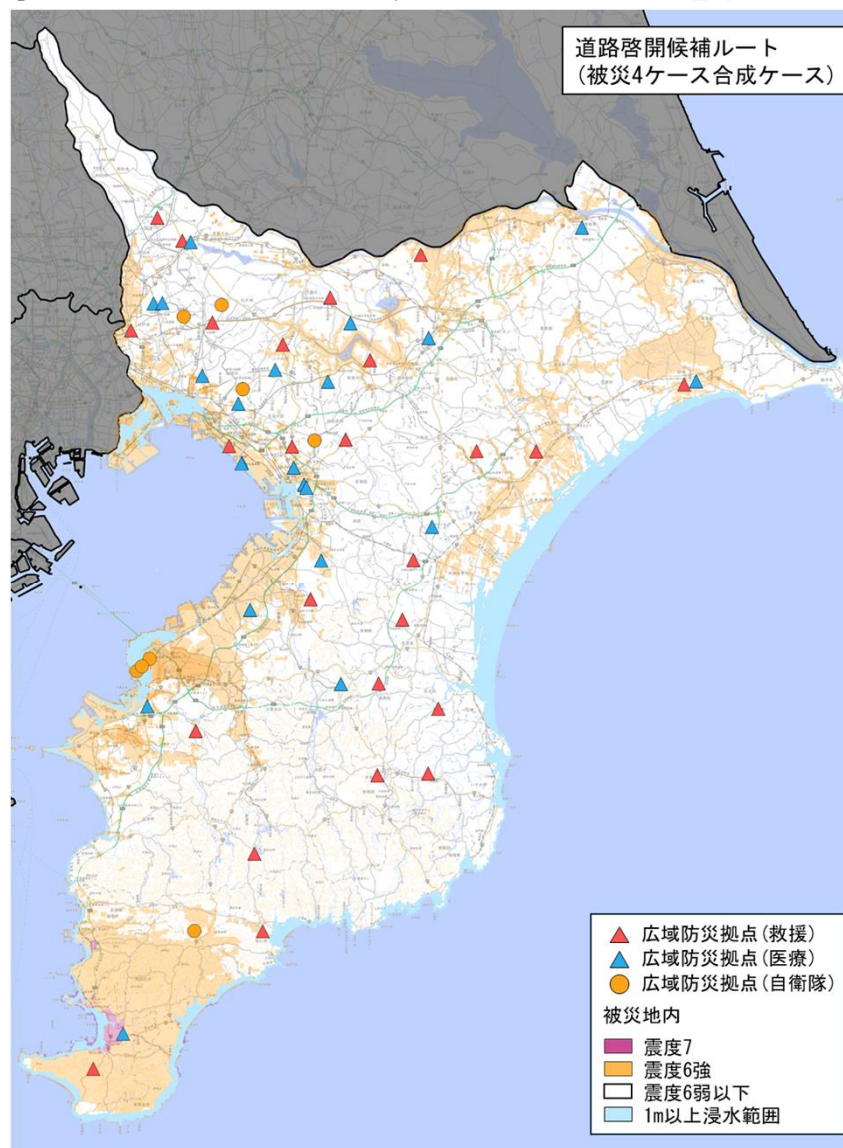
成田空港直下地震



津波（元禄地震）



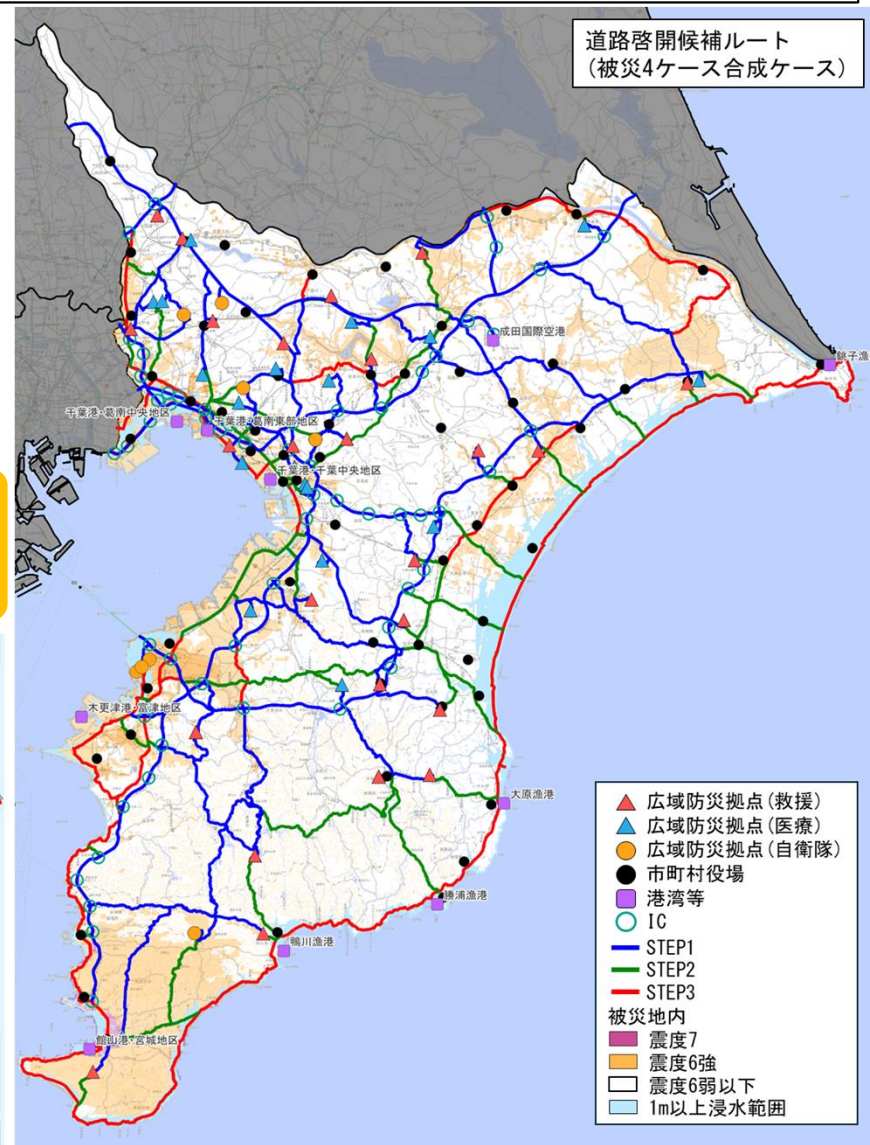
震度 6 強以上または津波浸水 1 m 以上を被災地と設定



啓開候補路線の選定



- 被災地への啓開候補路線を、復旧も見据え、防災拠点を連絡するよう選定
 - 防災拠点、市役所、港湾施設等を結ぶネットワークの形成
- 啓開候補路線を電気通信、水道等のライフライン関係者に共有



STEP 1
(概ね12時間以内)
(県外) 高速道路～広域防
災拠点までのルート



STEP 2
(概ね48時間以内)
広域防災拠点から被災地まで
のルート

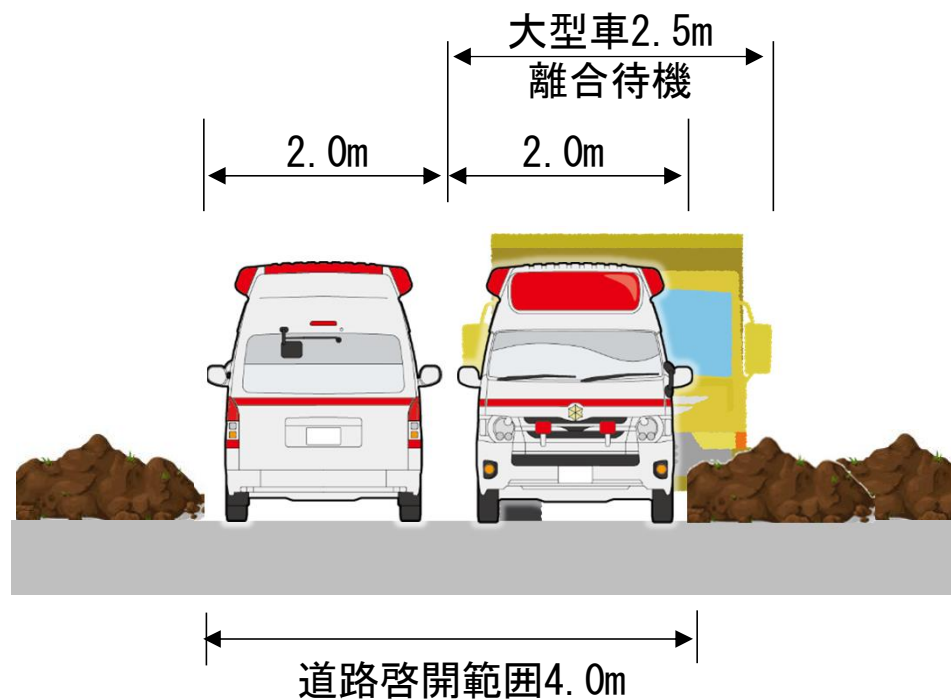


STEP 3
(概ね72時間以内)
被災地内の交通機能を確認
するルート

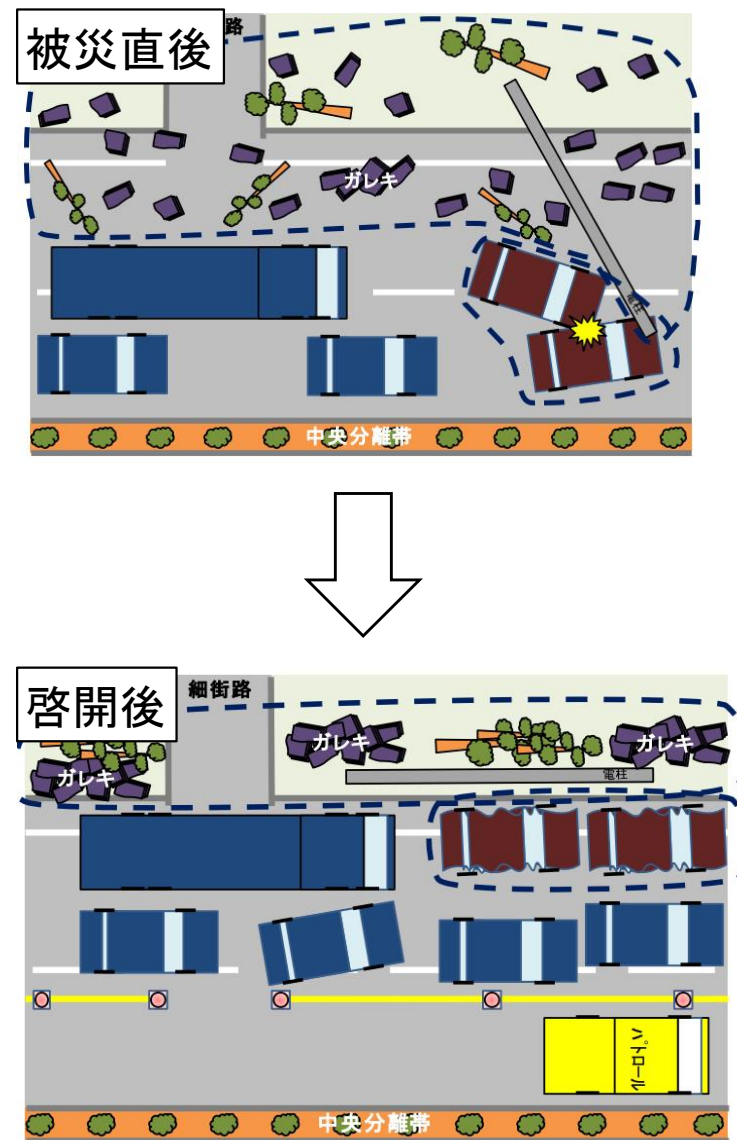


○緊急車両等の通行を考慮し、啓開幅は4 mと設定

【道路啓開の標準断面】



【啓開作業イメージ】



被災量算定と啓開作業量設定



- 想定災害毎に6つの被災種別について被災量を算定
- 啓開路線毎に必要な資機材を勘案し、啓開担当会社を選任

【啓開担当会社選任イメージ】
(対象関東地震 安房土木管内抜粋)

区間		3-10	3-11
路線名		和田丸山線 国道410号	国道128号
延長		36,884m	2,306m
①道路上がれき（地震）		2.2m ³	0.0m ³
②路体・法面崩壊		0箇所	0箇所
③橋梁段差		38箇所	1箇所
④電柱倒壊		1.9本	1.5本
⑤道路上がれき（津波）		0.0m ³	0.0m ³
⑥放置車両		123台	31台
啓開担当会社 (非公表)	主	〇〇建設	□□土木
	副	〇〇土木	□□建設

